



Principia I 「科学とは何か」講座を実施しました

今年度、本校は SSHⅢ期に入り、Principia I にて新たな「科学とは何か」講座がスタートしました。本講座では各教科がそれぞれの専門性を活かして「科学とは何か」を考える構成となっています。国語科からは「文献調査」、数学科からは「統計講座」、理科からは「比較対照実験」と3つをテーマに講座を実施しました。今回は1年生の SSH 委員に感想を聞きました。

文献調査

自分の興味がある論文をサイトの中から調べることは（単語から調べられたりしたけど）すこしむずかしくて、だけど分からなかったことがより理解を深めながら知識として蓄えることができたので、楽しかったし、経験できて良かったです。論文を SSH をやる上で見ることになると思うのでよりスムーズに調べられるようにしたいです。

1組 下妻 花乃

文献調査では、必要な情報を集めるだけでなく、情報の信頼性や出典を確認することが重要だと学んだ。複数の文献を比較することで、より正確で客観的な考察につながると感じた。今後の研究活動でも、適切な文献の探し方や活用方法を意識していきたい。

2組 佐巴勢 七海

③【講義】論文は「ハンバーガー」だ！

論文の構成（IMRAD）は世界共通！

④ 上パズ (Intro):

なぜこの研究をしたのか？（背景と目的）

⑤ 真材 (Methods/Results):

誰にどんな実験をして、どんなデータが出たか？※読むのに一番時間がかかる！

⑥ 下パズ (Discussion):

結論、何が言えるのか？（考察・結論）

⑦ 読むコツ:

最初は「上下のパズ（要旨と結論）」だけをバクッと食べよう！



統計講座

私は、統計の授業を受けて、これからの Principia の研究への希望がもてました。エクセルでデータを入力したり、計算が難しくて最初はついていけなかったけど、先生の教え方がとても分かりやすく、私も今回学んだ統計の技術を使って、これからの Principia での研究を頑張ろうと思いました。

3組 須藤 亜弥

統計を学んで、データを正しく分析し活用することの重要性を理解しました。平均値だけでなく中央値や分散などさまざまな指標を用いることで、より正確に物事を判断できることが分かりました。また、統計は社会問題の分析や企業の意思決定など幅広い場面で活用されており、今後はニュースや身近なデータを見る際にも統計的な視点を意識したいと思いました。

4組 河野 稔広

Principia I
統計講座

データを整理し
客観的な指標へ

数字は嘘をつかないが
解釈は人を惑わす

分散と
標準偏差と
相関係数

神奈川県立横須賀高等学校
SSH推進委員会 作成

SSH

比較対照実験

今回の、比較対照実験の講座では、実験をするうえでどのようなことに注意すればよいかを学びました。折り方や形による紙の落ち方や、下の上の折り目によるスーパーボールの跳ね方の違いを班員で協力して実験を行い、確かめました。そして、実験時の条件の変え方、因果関係の読み取り方の大切さなどを学びました。

5組 浦濱 終人

この前やった比較対照実験で私は、角度を出す時最初どうすればいいのかわかっていなかったのですがやり方を知ってそんな単純なことだったのかと驚きました。また、条件を変える時にそんなに小さなことでいいのかと驚きもしました。

6組 成毛 笙馬

未知に挑むことの難しさや仮説を立てる大切さ、何回も取り組んで結果が出るようする粘り強さ、どうすればうまくいくか考える力が大切だと言うことを学びました。また、みんなで話し合って意見を交換することで考えが深まったり違う視点からの考え方を学ぶことができたのでみんなで取り組むことは大切だとも学んだ。

7組 戸田 蒼涼

